

SVM9000導入事例 熊本県山鹿市役所 様



市役所職員用業務システムとして、PC仮想化シンクライアントシステムにSVM9000を導入

山鹿市役所様は、庁舎の老朽化対策や市民サービスのさらなる充実・向上の為、新庁舎を建設し移転されました。更に、職員用業務システムは、セキュリティの向上及び業務継続性の向上を目的として、シンクライアントシステムへ移行されました。

これまでは、職員が個々でデスクトップPCを使用しておりましたが、この度、仮想デスクトップPCへ変わり、PC上のすべてのデータがSVM9000に集約され、データの保全性の向上や可用性の向上など、シンクライアントシステムの心臓部として稼働しております。

導入前の課題

- 業務上の様々なデータが職員のPC本体に保存されているため、PC本体の盗難が即情報漏えいにつながるリスクがあった
- PC本体が被災すると保存データが消失してしまう恐れがあり、業務継続性の観点から懸念事項だった
- 人事異動の度に、PCからPCへの保存データの移動が必要で、利便性が低かった



導入効果

- デスクトップ上のデータからファイルサーバのデータまでSVM9000に集約され、一括管理できる
- PCが被災してもデータはSVM9000に保存されており、端末及びネットワークが復旧すれば業務を継続できる
- 仮想デスクトップ化により保存データの移動が不要となり、いつでもどこでも自分の使用環境で業務を再開できる

山鹿市

豊かな自然環境と歴史ある文化が見られる街。

県内1位の湧出量を誇る山鹿温泉は古くから有名で、なめらかで肌触りの良い泉質は「美人の湯」とも呼ばれています。中にはお酒に割って飲む人もいます。

毎年8月15・16日に開催される「山鹿灯籠まつり」では、金灯籠を頭にのせた女性たちが優雅に舞い踊る「千人灯籠踊り」があり、見る人を幻想的な世界に誘います。

国指定重要文化財に明治時代の芝居小屋「八千代座」があり、当時の面影を見られるだけでなく、イベント会場や映画の撮影地としても利用されています。

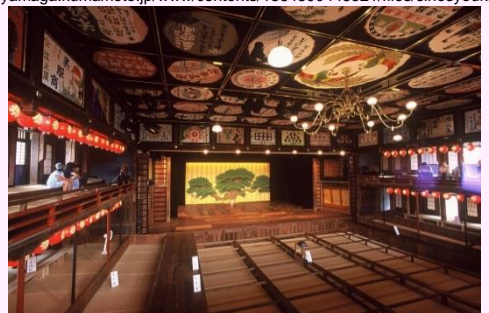


山鹿市様ホームページより引用

<http://www.city.yamaguchi.kumamoto.jp/www/contents/1364890446321/files/sinosyoukai.pdf>



灯籠踊り



八千代座

山鹿市様ホームページより転載 http://www.yamaga-kankoh.hinokuni-net.jp/photo_galleries/

世界の最先端IT技術を日本のお客様に



コンピュータ ダイナミクス株式会社

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-21-23

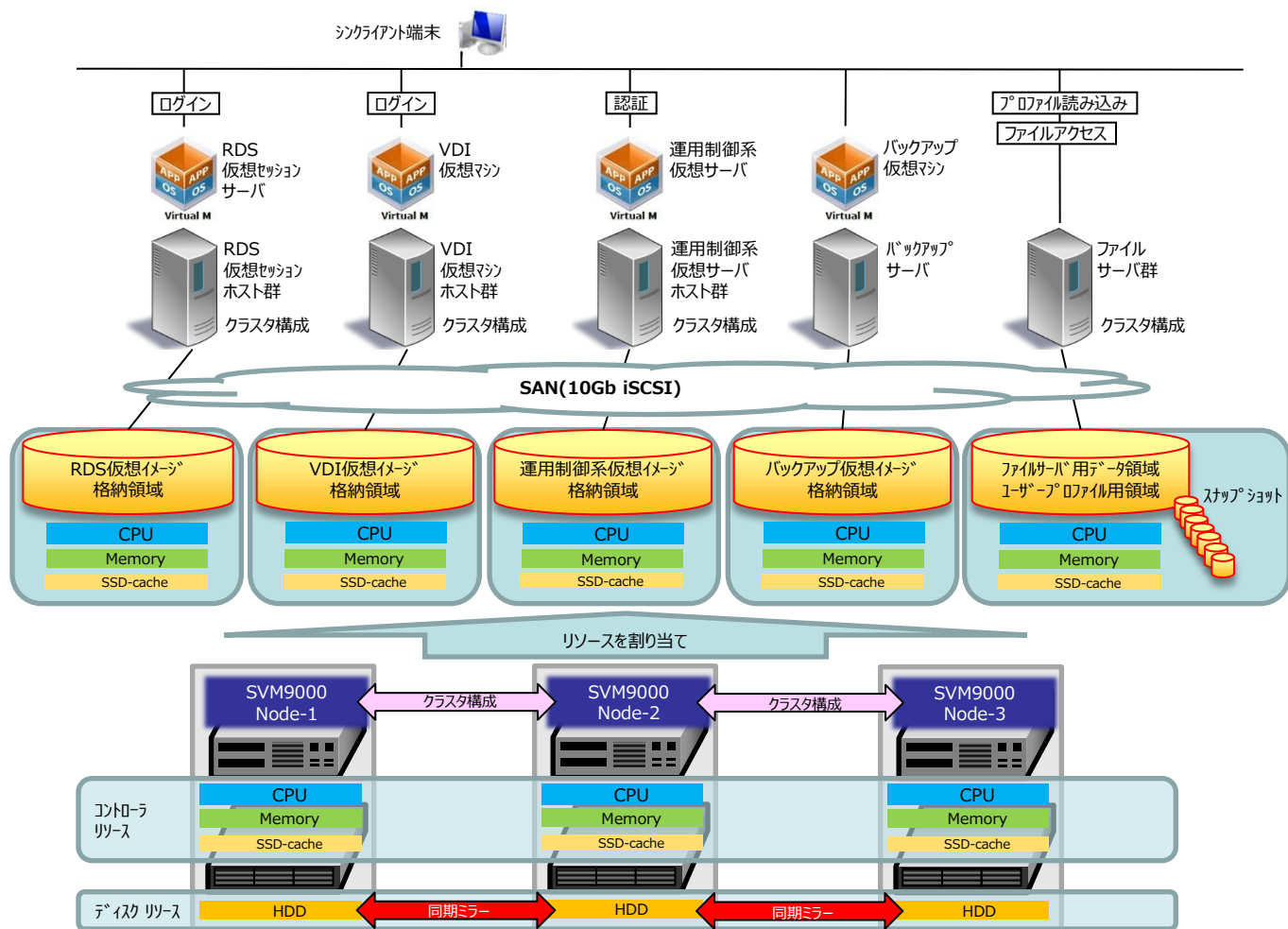
TEL : 03-3366-9741 FAX : 03-3366-9800/9494

E-MAIL : compd@computerdyna.co.jp

ホームページ : <http://www.computerdyna.com>

Server-Storage Virtualization Manager Package
for Enterprise IaaS Private Cloud and Server
CDS-SVM9000

システム構成



SVM9000のシステム構成

- 各ノードの物理リソースを統合し、そこから各サーバが必要とする分の格納領域（仮想ストレージ）を割り当てる
- コントローラリソースは、各格納領域のコントローラに向けて、いずれか2ノードから均等にリソースを切り出して割り当てることで、アクティブ・スタンバイのリダンダント構成を提供する
- ディスクリソースは、ノード間で同期ミラー構成され、各格納領域にデータ領域として割り当てる

SVM9000の特徴

- ユーザー数の増加に応じて、各データ領域のコントローラ性能の変更ができる
- データ量の増加に応じて、各データ領域の容量増設がオンラインでできる
- 複数ノードのクラスタ構成で同期ミラーにより、ハードウェア障害時でもシステムが停止せず運用に影響がない
- 各データ領域のコントローラを仮想的に持つことによって、障害時の復旧やメンテナンス時のダウンタイムを減らすことができる
- ストレージの管理画面が統一されており、ストレージのリモート監視やメール通知による早期障害発生時の検知が可能となる
- ストレージ特有のバックアップ機能を使った、世代管理によるスナップショットやリモートミラーがあり、データの安全性が向上する
- リモートミラー機能により、アーカイブデータを他拠点に転送ができる

お客様の声

- これまで、データ保存先は、個人のPC上であったり、ファイルサーバであったりとあちこちに散らばっていましたが、SVM9000の導入によりデータの一元管理が実現しました。さらに、アクティブ・スタンバイによる冗長構成で高い可用性を保ち、各格納領域へのリソース割り当てを必要に応じ、容易に変更できるため、管理者として運用が楽になるのはもちろん、情報セキュリティや事業継続性の面からも有効な対策ができたと考えています。

世界の最先端IT技術を日本のお客様に



コンピュータ ダイナミクス株式会社

〒169-0073 東京都新宿区百人町1-21-23
 TEL : 03-3366-9741 FAX : 03-3366-9800/9494
 E-MAIL : compd@computerdyna.co.jp
 ホームページ : <http://www.computerdyna.com>